



学校図書館サポートキャラクター  
としょえもん

# としょえもん

令和4年度  
第2号

学校図書館サポートセンター広報紙

みんなに知ってほしい！  
世界が広がる学校図書館  
の魅力をお伝えします。

今号では、学校図書館を活用した読書指導と学習支援についてご紹介します。

## お見せします！小学校での読書活動 ～先生と学校司書との連携～

### 【基本の授業の流れ】

1. 読み聞かせ・本の紹介など
2. 本の返却・貸出
3. 読書タイム(静かに本を読む)
4. 本棚の整理整頓

#### 1. 読み聞かせ・本の紹介など

最初に、担任の先生がその日のめあてを示します。学校司書は読み聞かせや本の紹介を担当し、季節や行事に関わる本、知識や科学の本、学習に関連する本などを、めあてに合わせて選びます。

高学年では、学校司書がブックトークを行ったり、児童同士が本の紹介をしあったり、多彩な読書活動を行います。このように学校司書は先生と連携して授業を支援します。

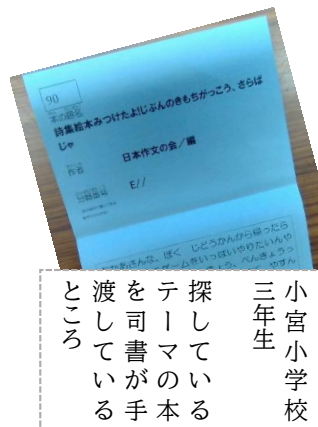
#### 2. 本を返し、新しく借りる

八王子市の学校図書館は、市の図書館と同じ図書館システムを使って貸出や返却をしています。

借りた本は自分で本棚に戻します。学校図書館の本は、公共図書館と同じ分類規則(日本十進分類法)で並べられており、本の分類ラベルを見て正しい場所に戻すよう、先生が声をかけます。学校司書も、児童の本の探し物や読書相談に対応します。

#### 3. 読書タイム

席について1冊の本に向かい合う、静かな時間です。「伝記」や「科学読み物」など、読む本のテーマを決



と渡をテ探 三年 小宮  
ころし司し 年生 小学  
て書ーし 校  
いがマて  
るのい  
手本の



めて読書する日もあり、20分ほどの時間で、児童は驚くほどの集中力で本の世界に没頭します。読書タイムは、児童の読む力を育む大切な時間です。

ここでは先生も一緒に読書し、児童の集中力に寄り添います。



山田小学校  
四年生(現在の五年生)  
集中して読書をしています

#### 4. 「使う前よりきれいな本棚」に

授業のしめくくりとして本棚の整理整頓を行います。読書に関わる指導だけでなく、「走らない」「私語を慎む」といった図書館内でのマナーや約束ごとの確認も行います。学校図書館での学びは、生涯を通して図書館に親しんでいくための大切な最初の一步です。(Y.N.)

## 中学校での学習支援 ～移動教室事前学習にて～

### 福島への移動教室、ブックトークで 3.11 東日本大震災に触れる 浅川中学校

ブックトークとは「1つのテーマに基づいて、数冊の本を順序だてて紹介する手法」で、色々な本に興味を持ってもらうために効果的な方法です。

2年生が移動教室で福島県へ行くにあたり、学校司書に東日本大震災についての本を紹介してほしいとの依頼がありました。八王子市図書館の学校貸出などで震災関連の本を集めてリストを作り、その中の6冊でブックトークを実施しました。

写真で語りかける本、震災時小学生だった当事者が「語り部」となって経験談を伝えている本、など様々な視点で震災を伝える本を紹介し、最後は『かえるふくしま』（矢内靖史／写真・文、ポプラ社）の読み聞かせをしました。

生徒は課題として震災関連の本を読むことになっていたため、一人に一冊は本が渡るよう学校司書は他校からも本を借りて貸出をしました。

学校司書は、生徒の学びを深める手助けとなる本を様々な方法で紹介、手渡しています。中学校では特に、読書の場としてだけではなく、情報を得る場として学校図書館を活用してもらえよう、学校司書間でも事例を共有して各校に広げたいと考えています。(Y.H.)



同じ時期に浅川市民センター図書室でも同様のテーマの本が展示されていました。

## 校長先生！おすすめの本は何ですか？

### 『18歳のビッグバン 見えない障害を抱えて生きるということ』

小林春彦 著／あけび書房

著者は18歳の春に広範囲脳梗塞で倒れましたが、厳しいリハビリを克服して、高次脳機能障害を抱えつつも講演等で活躍しています。「社会や人生には、答えのない問題ばかりが横たわっています。(略)もし本書が、そういった難題に直面し、悩んでいる人たちにとって、一つでも参考になることがあれば、神に生かされた二度目の人生を心より幸福に思います。」という前書きに誘われて手に取りました。

電動車椅子に乗った友達とのエピソードは、著者にとって障害者が他人のために出来ることの喜びや見える障害と見えない障害についての認識を深めるものだったそうです。ぜひ多くの人に読んでほしい本です。

八王子市立横山中学校 校長 竹田 幸恵



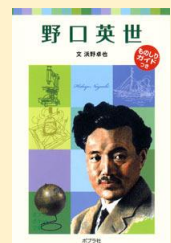
### 『野口英世 子どもの伝記1』

浜野卓也 文／ポプラ社

八王子市では偉大な医師として肥沼信次医師が有名ですが、後半生を主にアフリカで多くの人が亡くなった黄熱病の治療にささげた野口英世医師の一生を書いた伝記が心に残っています。

私が小学校2年生の時、福島県にある大きな湖「猪苗代湖」に行き、そのほとりの野口英世生家跡の記念館を訪れたことがきっかけで伝記を読んだのです。この本から目標をもって根気よく努力することで、心の強さ次第で思いは叶えられることを強く感じました。

八王子市立中野北小学校 校長 佐藤 洋



令和4年度 調べる学習コンクールの応募は過去最多の896作品でした！入賞作品は『としょえもん』令和4年度第3号でご紹介します。



発行：令和4年（2022年）12月15日 八王子市教育委員会

教育指導課 学校図書館サポートセンター

問い合わせ：042-664-1193